

文化・芸術

「序曲」としてのオノサト・
トシノブと新井淳一

展示風景

企画展「桐生のアーティスト2025」がこの週末いよいよ開幕します。

シリーズ第5回の本展は、「KIRYU Fantasia 桐生幻想曲」と題し、「夢」と「幻想」をテーマにしています。

冒頭を飾るのは、オノサト・トシノブと新井淳一。オノサトは「実在」を見つめ、緻密で純度の高い抽象を追求しました。一方、新井は糸と布の可能性を探り、身にまとう布のぬくもりを失わない作品を生み出しました。ともに桐生の地において、新たな視覚体験を切り開いたアーティストです。

ふたりの表現が重なり合う展示空間を本展の「序曲」としてご覧ください。

(小此木)



《名画の扉》

大川美術館企画展
「桐生のアーティスト2025 KIRYU
Fantasia 桐生幻想曲」から